

第11回 まちづくり常任委員会会議録

令和5年10月12日(水)

委員会議室

○会議日程

- 1 開会宣告(10時01分)
- 2 調査事項
(1) 小中一貫教育行政視察に係る事前確認について
- 3 その他
- 4 閉会宣告(10時48分)

○出席委員(8名)

委員長	4番	高橋	秀之
副委員長	1番	高橋	秀明
委員	2番	佐藤	忠志
委員	3番	深澤	博幸
委員	5番	植村	敦
委員	6番	無量谷	隆
委員	7番	齋賀	弘孝
委員	8番	西澤	裕之

○議会事務局出席者

事務局長	岡田	英樹
事務局次長	藤田	秀紀
主任	横山	薫

高橋委員長

本日の出席委員は8名です。

定足数に達しておりますので、ただいまより、第11回まちづくり常任委員会を開会します。

それでは調査事項に入ります。

調査事項(1)小中一貫教育行政視察に係る事前確認について協議したいと思います。

先日、事務局長より早来中学校と雨竜小中学校の資料が送付されたと思いますが、視察にあたって『こういうところを重点的に見たらどうか』など、皆さんの意見を聞きしたいと思います。順番に、意見、よろしくお願ひいたします。

まず、無量谷委員から。

無量谷委員

小中一貫校を見ることは大変いいと思うんですけども、まだ幌延町に本当は、僕自身は早いんじゃないかなっていう気はするんですけど、勉強していく形で、参加していきたいなと思っております。

まだ資料はなかなか見てないんですけども、小中一貫校を作るに当たって、安平町の資料を見ると、あそこは、以前、地震の災害あったところですから、災害対策とバリアフリー化についても重点的に見ていきたいなと思っております。

また、時間があるかないか分かりませんが、安平町は、D51の道の駅っていう形で、地域の活性化をやっているんで、これからの拠点づくりも、兼ねて、見たいなと思っております。

高橋委員長

ありがとうございます。次は植村委員。

植村委員

局長に送ってもらった資料に目を通しました。

私は、聞いてみたいっていうことは、あまりないと思いますけども、議会として、どのように、この一貫校の経緯に関わってきたのかなというのを聞いてみたいなあということを知りたいなふうに思っています。

議会对応という欄もありましたけども、どういう経緯だったのかなということを知りたいなと思っております。

また、あとは、ここに今日配られた資料の中に書いてあるようなことが、メインなのかと思います。

高橋委員長

ありがとうございました。

それでは深澤委員。

深澤委員

私も先ほどの無量谷委員と、似たような意見で、あそこを見る前に、まだまだ我々として、勉強する部分があるのかなっていう点では、無量谷委員と一致していて、しかしながら、先進地も視察することも重要であるので、参加はしますが、強いて言うならば、宿泊

場所が、なんで札幌かということは、自分の気持ちでは、残っています。

高橋委員長

佐藤委員

佐藤委員

概略的に、無量谷議員と植村議員と深沢議員が言ったように、特別、これを見て、町が建てるに当たって、町が何を参考にするかっていうのは、まだちょっと自分でも頭の中の整理はついていません。

ただ一つ、当然、今の時代で少子化になってきて、こういう小さい町で、小学校、中学校を別々に建てていくのがいいのか、それよりも、やはり小中一貫校にして経費削減してやるのも一つだし、今、植村議員が言ったように、私も、雨竜と安平の議会の対応というのか、こういう小中一貫校に持っていった、その経緯っていうのか、当然、無駄だと。二つもやるの。一つにしたほうがいいんじゃないとか、そういうものでやっていったんだと思うんですが、財政が許すのだったら、将来的にも許すのだったら、やはり、中学校は中学校、小学校は小学校というふうにやったほうがいいのかなと思ったり、まだ、複雑なところもあります。そういう点を一つ、視察に行って、議員さん方の意見も聞きながら、今さらこれをやめろとかやらないとかではなく、もうスタートしているわけですから、参考にして少しでもやはり、どっちみちやっていくのだったら、やって良かったと言えるような学校の方向に持っていきたいなと思って、勉強していききたいなと思っております。

高橋委員長

齋賀委員

齋賀委員

幌延町の場合は、もうこれまでも、数回の話ですけど、話があったように、もう進むというように決まっている中、私としては、進むのはいいんですけど、流れが全くない中で、いきなり教育長さんが代わって、やりますよということだったんで、前任の木澤教育長さんから、現在の青木教育長に変わる段階に、いろいろ話があって、こういう話が出てきたと思うので、木澤教育長さん時代の小中一貫校についての話をもうちょっと教育委員会から聞きたいのと、教育委員会では今どこまで話が進んでいて、どういった方面を見てるのかというのをちょっと尋ねたかったんですよ。

教育委員会は、学校を見て、部屋数だとか、見取図だとか、いろんな方面を見てきていると思いますし、我々議員が行って、我々は地元の議員さんと懇談もありますから、その中で、どうかかわりを議員はしてたのか、そういうのを確認出来たらいいなと思ってます。

だから、教育委員さんも何回も視察に行っているわけだから、一回、二回の視察で、どういう方面を重点的に見てきて、生かそうとしているのか。

やっぱり教育委員会が関心持って見たところや、我々議員も関心持って、一緒の情報を得ていききたいなと思ってます。教育委員さんは向こう見てて、議会は向こう向いていたら、なかなか一緒になっていかないと思うので、やっぱり同じ方向でも進むって決まっているのですから、そういうのを確認したいなあというふうに思っています。

また、この視察のポイントでいろいろ事務局さんでつくってくれたんですけども、どういう対応をしてくれるか。平日に行くわけですから、児童生徒もいる中で、議員がぞろぞろと

行って、各部屋を見せてもらうことは可能なのかなというような心配もあるところです。

でも、学校に行って、学校ができてから、学校運営されて、実際に、学校を使っているまでの流れを、町民の流れ、議会の流れもつかんできたいなと思っています。

高橋委員長

西澤委員

西澤委員

私がポイントにしているのは、小中一貫校後の学校と家庭がどのように感じてどのような運営をして、家庭の中で、どのような意見があったのかということを知りたいのと、

施設的には、専用の教室をどのような割当てで、どのように使っているのか。また、その専用の教室を小中で共用しているんだとは思いますが、どのようなやり方でやっているのかということに関心を持って、視察に臨みたいというふうに思っています。

高橋委員長

高橋委員

高橋委員

今、皆さん言われたことに尽きるとは思うんですけども、一つ心配しているのは、最近、宗谷新聞で、幌延町で人口減がかなり進んできていて、2回ぐらい発表したのを見ますと、ほかの町村と比べたら、かなり減ってきていると。それがどのぐらい続くのかなっていうのが、それは児童数や生徒数の人数にも影響してくると思うので、その辺が1番心配ですね。

ですから、幌延町の教育委員会で数字を出してくると思うんですけども、建ててから10年後ぐらいの生徒数とかを知りたいと思います。

そういう中で、雨竜や安平を見てくるんですけど、教育委員会さんが言ったようなことが、施設視察に行ったことが、どのような結果として表れてくるのか、その辺も、含めて、研修していきたいと思います。

高橋委員長

最後は、私なんですけど。

私は、小中一貫の教育に移っていくにあたり、住民とか保護者とか、いろんな説明会を何回かやっていると思うんですけど、保護者とか住民の反応というか、どういう意見があって、どこがいいから一貫校にしようよとか、これしたら一貫校が悪い。そういう、裏腹の意見を聞いてみたいなと思っています。ちょっと余談なんですけども、今の皆さんの話を聞くと、まず、自分の町の小中一貫校に進んでいくプロセスもないし、今までに進行してきた中身っていうのは、よくまだ分かってないのかなっていう気がするんですよ。

私自身は、教育委員からも十分な説明っていうのは、まだ全然ないのではないかなと考えているんですよ。もうちょっと具体的に、これはこうだからこうしたいんだっていう何か強いなにかがないと思っています。なにか降ってきて、一貫校にしようよとかっていうような感じがしてたまらないですよ。

だから、今回、行く前にこういうこと言っちゃいけないんですけど、行って何を勉強しようかなって考えたときに、何を質問したらいいのかなって、まず、そこから入っちゃうっていうか、私もこの資料、目を通したんだけど、どっからどういうふうにこれ質問していけばいいのかなっていうのは、うちらは議員なんで、議会対応は、聞いてみたいなど、みんなも

思っていると思うんですけど、その辺を聞いてみたいんですけど、どのようにこれを進行して、向こうと話し合っていけばいいのかなって、ちょっと悩んでいる最中なので、ここで何か皆さんが、質問事項とかこういうことを聞いてみたいとか具体的なことあれば、もうちょっと聞かしてほしいなと思うんですけど。どうでしょうかね。

深澤委員

深澤委員

局長の提案した質問事項も含めて、1人2、3問程度に全員に質問させてもらうというか、そういう割り振りを事前にしたほうがいいのではないのでしょうか。時間の関係上。

高橋委員長

私としては、みんなの質問も聞くんですけど、まず行って、委員会として、これと、これと、これって3点ぐらい、これは、どうなっているのですか。これはどうなっているのですかと、3つぐらいを投げかけて、それを聞いて、そして、議員さん方に何か、ほかに質問ありませんかと聞いて、続いて、議員さんが思っていることを質問していただければと思っていたんですよ。

何もなく、議員さん何か質問ありませんかっていうよりは、委員会として行くので、委員会としてまずは3つ質問して、何かありませんかっていうあとに、議員さんが、これこれこれって質問してくれば、いいのかと。

最初にふったときに誰もいなくて1人だけしゃべってれば、何かおかしいし。

深澤委員

だから、今、言ったでしょう。事前に、質問事項を割り振りして、冒頭で委員長が、委員会として、3つぐらい質問して、その後はやっぱり、この中身を含めて、全員で質問したほうがいいんじゃないかと。

そういう流れのほうがいいんじゃないかと思います。

自分で考えることってなかなか出来ないよね。

高橋委員長

佐藤委員

佐藤委員

深沢さんが今言ったように、向こうも漠然と、皆さん並んで、さあ何からやっていいかなんて、そこでばらばらで質問してもしようがないので、今、委員長が言ったように、ある程度、こういうものを聞いてみたいものを我々も要約して行って、そして、例えば、今言ったように、小中一貫校に進められたって、どういう経緯で進めていったものなのか、町民から声が出て、やらなきゃならなくなったのか、教育委員会から進められたのか、それとも議会で先行して、学校これにしなきゃならんと言ったのか。そういう経緯を説明いただいて、何点かね。今言ったように、2点なのか3点なのか。

それに対して、向こうからそういう答弁というか、説明いただいてから、1人1問づつがいいのか、あとはその雰囲気の中で、1人1点づつと言われたって、あまりおかしなこと聞かれないものだし。まあ、意見だから、それは皆さんからどういう意見が出るか別として、意見を伺ったらいんじゃないですか。

高橋委員長

ここに事務局で用意してくれた資料の中から選んでいくのが。今のところ、何か話聞いたら、あんまり具体的なことが出てこないで、この中から、委員さん1人1個でいいので、これ質問したいっていうものあれば、先に言ってもらえば、そこを外して、委員会としてはほかのものでいくんで、順番に、どれを質問したいかを聞かせてもらえば、進めていくので。その余ったやつを委員会で質問させてもらうので。

多分今考えても出てこないで。

そのほかにあるときは、行ったときに質問しても構いませんので。

深澤委員

訪問時間は何時間くらい。

高橋委員長

2時間くらい。

深澤委員

先ほど委員長が言った冒頭では、委員長から委員会のおおまかな質問をしてもらって、その後、我々に振ってもらえばいいんじゃないかな。

高橋委員長

どうなんだ。早来って、議員さんでないよね。

岡田議会事務局長

前にもお伝えしてますけど、早来学園、安平町については、その日、議会対応が出来ないということで、教育委員会と学校のみに対応なんですけども、教育委員会の担当者が、小中一貫の話が出たときから、長くいる方で、議会対応とかもやっていますので、議会対応の話は、町部局としては、教育委員会側としての対応はこういう、議会からこういう話がでて、こういう対応をしましたとかっていうのは、聞けると思います。

雨竜町については、議会対応してくれますので、向こうの議長、副議長、常任委員長と議運の委員長が来てくれるとのことなので、この議会対応については、雨竜町さんは、直接聞けると思います。

深澤委員

雨竜町のほうが、幌延町に似通っている。

議会対応の話も、うちのほうがちょっとやったほうがいいのかもわからない。

岡田議会事務局長

安平町については、今年、開校したばかりなので。

雨竜町については、もともとあった中学校に小学校を増設して、増改築して小中一貫校ということで、決まっています。

高橋委員長

安平町の場合は、震災の関係で、小中一貫。幌延町とは、ちょっとやる事情が違うので。向こうは、もう早急にやらないと駄目だった。うちのところは、そんなに早急にやらなくともいい事案でもあるんだけど。

予算もちょっとでていたけど、15億円だか20億円かかっている、町の持ち出しが、5億何千万あるって、資料に書いていて、また幌延の場合は、それにプラスして、拠点づく

りもそれに、時期的にぶつかってきて、財政面が豊かだ豊かだと言って、使えばなくなるのは分かるので、その辺も、もうちょっと間隔をあけて出来ないのかなと私は、最初から思っていたんだけど。

植村委員

安平のほうの総額34億だったかい。雨竜が15億。

雨量の方は、細かく予算の配分出していたんだけど、安平の方は、総額でボンと出ているだけで、中身の配分がちょっと分からないんだよね。

高橋委員長

だから、どういう予算措置して、使ってるのかさ。

深澤委員

復興支援だから、ほとんど、国だべ。

高橋委員長

多分そうだと思うんだけど。

だから、安平のほうは、予算の中身ね。

岡田議会事務局長

安平の早来学園なんですけれども、安平町の人口的には幌延よりも多いんですけれども、早来学園の児童生徒数は、幌延よりも多いんですけれども、中学校1年生は、2クラスあると聞きましたけども、ほかのクラスは1クラスなので、学校の教室数だとかは、それほど幌延と、変わってこないのかなあと思うので、安平町は、新しい建物ですので、どちらかという、どういう建物なのかとか、施設がどういうふうなものがあるのかっていうのを重点的に見てもらえるといいかなと思います。あと、雨竜町については、人口規模も似ているので、児童生徒の状況だとか、そういうのも、確認してもらえればなと思ってます。

植村委員

冒頭に言ったその質問を委員会として、どういう質問をするかという話を、まず、まとめたほうが良いのではないですか。

高橋委員長

まず1点目、安平の場合は、予算の中身ってということなので、まずそれは聞きます。

あとは、両方とも、議会の対応ですよ。

それをどういうふうに、議会に対応していったかというのは、安平と雨竜は、議会対応その辺を。

植村委員

安平のほうは、この計画段階から、一貫校として義務教育化ということで進んできると。雨竜のほうは、取りあえず、小学校と中学校の合同施設ということで、今、向かっているという違いがあるんだよね。

それで、安平のほうは、一貫校にしようと、義務教育化しようというのが、いつの段階からなのか、もう最初からそれを目指してやってきたのか。そこら辺の動きを聞いたほうがいいのかというふうに思うんだけど。

うちの場合は、先生が資格を持った先生がいらないから出来ないって教育長の答弁だったんだけど、どういう経緯で計画段階から一貫校を目指してきたのか。

深澤委員

安平の場合は、先ほど言った復興支援だから、当初から決まっていた話じゃないんじゃないかなという気がするんだけど。

植村委員

それは分かるんですよ。

深澤委員

やらざるを得なかったと。

植村委員

義務教育化という一貫校を目指したという経緯が

佐藤委員

そうそう。復興支援といえども、だったら、中学校なら中学校作ればいいので。

深澤委員

復興支援の前からあった話かっていうことか。

佐藤委員

うん。そうそう。

植村委員

それを、復興支援をやるために、一貫校にしようということ。

深澤委員

どうせやるなら、一貫校にしようとした。

植村委員

そういうことで、進んだのか。どうなのかという。

齋賀委員

復興支援じゃなくて、学校を再建するんだという。

佐藤委員

せっかくこうやってくれんだったら、中学校も単独でやってくれ、小学校も単独でやれたかもしれないし。

植村委員

うちらだって、どうせやるのだったら、義務教育化の一貫校を進めた方が良くと思うんだけれども。それは、なかなか、先生の都合があって出来ないということ。

佐藤委員

なんか、そこら辺のところ、復興支援だから、最初から・・

(フリートークのため聞き取り不能)

高橋委員

まず幌延町の議会が行くっていうことを先方ももちろん分かってるわけだから、ある程度、最初から発表、発表というか、どういう経緯でなったかちゅうのは、こちらから特別言わなくても、ある程度は、概算で言ってくれると思うんですよ。

ですから、今必要なのは、こっち側としてどういう面を、質問するかっていうことを、ある程度まとめといて、発表する発表というか質問事項に取上げて、行くほうが、いいのかなって感じがしますけどね。

高橋委員長

今、それを一生懸命まとめているところなんですけど。

深澤委員

だから委員長、今聞いている意見を集約して、委員長が質問書つくればいいでしょ。

高橋委員長

今言われたのは、安平は、最初から一貫校を目指していたのか。どういう経緯で、一貫校になったかってこと。それと安平の予算の中身、幾らかかって、これに幾らこれに幾らって町の持ち出しが幾らになるとか、どっかの補助金使ったら、補助金が幾らになったのかというそういう内容を聞くと。

そして、安平と雨竜は、議会の対応も聞く。雨竜に関しては、安平は3つあるんですけど、後でもうちょっと見て、ちょっと変われば変わったように質問はしますけど。

あと雨竜のほうがあんまり資料的にないので、どういう質問でせめていけばいいのかと思いますけど。

深澤委員

雨竜も議会对応だべ。

高橋委員長

雨竜の議会对応。それは聞きます。

それと予算は、雨竜のほう予算が出ているんですよ。

1番最後に、交付金が5億なんぼとか、町債が7億なんぼとか、一般財源がなんぼで、実質、町の負担が4億なんぼでって、だから、中身的には安平もこういうことを聞けば、いいのかなとは思っています。

雨竜の方は、議会对応とか、説明会の開催とか、校舎の建設スケジュールとか、いろんなこと書いてある。

両方とも見ても、なんか、住民との会話みたいなこと、あんまりやってないような気がするんだけど。

高橋委員長

齋賀委員

齋賀委員

安平は、住民と関わっているってこと書いてあるんですよ。多くの住民が関わる機会を設けたって言っているんだから。幌延は多くの住民と関わる機会がなかった。

高橋委員長

幌延は、ならなかった確かに。

いきなり降ってきてるんだなっていう感じ。

植村委員

もう1点、対処的にちょっと、経緯がちょっと違うなと思うのは、うちの町のことは、おいといて、雨竜と安平の場合だと、地域の交流の拠点にしたいんだというような思惑がかなり強く、委員会の中で出されたんだけど、それに対して、教員、先生方は、非常にセキュリティーだとか、そういった面から、非常に慎重になってたというのが説明書の中でも見てとれるなというふうに思ったんですけども、結果的に、どこで妥協して、どういうこ

とに重きを置いてやったのかっていうところが、やっぱり聞いてみたいところかなというふうに思っています。

逆に、雨竜のほうは、余り、そういった地域との関わりだとか、防災だとかっていう部分
が、生徒の学びの場としてということに重点に置いて、そういったものを余り重点に置いて
なかったかなというふうな感じで、資料見せてもらったんだけどさ。

そこら辺が、2校の大きな違いがあるのかなあと試してみたいんだけども、皆さんどう
いうふうに感じましたか。

深澤委員

資料の8番目にあるでしょ。防犯、防災対策死角が多いか否かってあるでしょ。

植村委員

質問事項にね。いやいやそれは、資料見た中でさ、そういうふうに感じたんだけども。

高橋委員長

安平はね、拠点としてやりたいって言ったけど、セキュリティーが、誰でも彼でも入っ
てきて、

植村委員

授業中に一般市民にちょろちょろされると思っていていやだと始まったり。

深澤委員

別に、質問事項止めるなにもものでもないから、聞きたかったら、聞けばいいしょ。

佐藤委員

安平はね、こういうことで、いろいろ、全部、見ていたんだけど、住民との議論を重ねたり、
そういう合同の学校運営協議会だとかを設けたり、社会ニーズに合致した未来をつくる
場所が欲しいということで、随分、この住民参加のワークショップ、また、随分、住民との
時間をとって、いろんな意見を取り入れてやってきたんだなと思って見てたんだけど、そこ
ら辺もちょっと、経緯っていうのか、どの程度の住民とどの程度まで突っ込んだ学校を作る
に当たって、やってきたのかなっていうのも、さっき言った幌延は、もう、今更、元に戻
った話してもどうしようもないんで、ただ、まだ時間があるんでね、そこら辺とこも、まだ
やっぱり住民の意見も取り入れていくのか、ただ議会と教育委員会だけで進んでしまって、
住民が、当然PTAのほうでも、父兄の方ともやってはいるんだろうけどね。

だから、よくさっき言ったように、まだ、そこら辺が、さっきから議論出るんだけど、
どうもこの説明が、議長、委員長言ったように、ちょっと熟成されてないところで、進んでい
るとこもあるもんだから、我々も、ちょっと住民に聞かれたときに、どこまでやったんです
かって、なかなか、まだ答弁出来ないところもあるんだけど、そこら辺とこも、ちょっと、住
民とこういう何かね、安平は、随分、こういう住民参加のことで、やってきたんだなって思
って。そこら辺もちょっと聞けるんなら。

さっき委員長言ったように、一般の中で、懇談の中で、個人的に質問すればいいのかなと
思ってもいるんだけど、ただ、何点かやるとなったら、なんぼまとめていくのか。

深澤委員

委員長。今、まとめているんだから。

佐藤委員

まとめていかなきゃ。

高橋委員長

安平のそれぞれの評価見ていると、最初から、いくかいかないか、どういう経過でなったかっていう。安平のほうは、この中に書いてる部分は、大体納得するところは、中学校を増改築して、小中一貫にした。安平の予算の内容は、大体、45億くらい。35億か。出てるけど、この中身的にどういう配分になっているかっていうこと。あと、両方とも聞くのは、議会の対応で、あとは、独自で聞きたいのは、住民と保護者の反応っていうか、どういう意見があったかっていうのを聞きたいなと思う。

何か幌延だったら、住民がなんて言った、保護者なんて言ったって、あんまり、パツとした回答が返ってこない。その辺を聞いてきたいと思います。

さっき、植村さんが言っていた安平、雨竜もそうだけど、地域協力を提供したいっていう場合、学校のセキュリティ、今、どうなっているのか、その辺りを聞いて、委員会としてはその辺だけにして、あとは、一般委員の人が、聞きたいことあれば、何点でも時間の許す限り聞いていただければと思います。

深澤委員

はい、了解。

高橋委員長

いいですか。

(「はい」の声あり)

高橋委員長

そのように、委員会としてはいきたいと思います。

植村委員

今言ったようなことを事前にこういう質問したいということに向こうに言わないんだよね。

(「言わない」の声あり)

深澤委員

いまの柱の部分ね、局長、行く日の朝までにペーパーで一枚よこしてもらわないと。

重複しないように。

高橋委員長

委員会は、何をやるかっていうのを。

深澤委員

あとは、一般の質問は、任せるということでいいんでしょ。フリートークでいいし。

高橋委員長

あとは、意見がぶつからないように。

岡田議会事務局長

安平町については、予算の中身がどういうふうになっているのかということと、あと、議会の対応はどうだったのかということと、あとは、義務教育学校にした経緯っていうのは、多分、向こうの当初の説明で、こういう経緯で義務教育学校にしましたっていう話は出てくると思うので、もし、出てこなければ、義務教育学校にした経緯っていうのは、どういうど

ういう経緯でそうしたのかっていうのを聞いてもらって、あと、学校開放の部分。学校開放で、どのような問題点があるのかどうかっていうところを。

高橋委員長

セキュリティーをどうしたかっていうところを。

岡田議会事務局長

そうですね。

っていうのを安平町のほうでは質問して、雨竜町については、議会对応はどうだったのかということと、あと、住民・保護者の反応は、どうなのかということ、委員会としての質問としていきたいと思えますけどよろしいですか。

(「はい」の声あり)

高橋委員長

それ、行く日にこれだけ作って渡しておいて。

岡田議会事務局長

はい。あと雨竜町については、資料にもあるとおり、小中一貫校になって、年数が経つてますので、その後の児童生徒の様子が、小中一貫校にする前とどう変わったのかっていうのも、ちょっとポイントかなと思ってますね。

(「雨竜」の声あり)

雨竜は、小中一貫になってから年数経ってますので。

高橋委員長

委員会としては、今やったやつをまとめて、こういう質問するっていうのは、16日の朝、バスの中で渡します。

あと、一般の委員さん方の質問は、それぞれ考えて、ほかの委員さんとぶつからないように、質問いただければと思いますので、よろしく願いいたします。

岡田議会事務局長

札幌宿泊の話出ましたけれども、次の日は雨竜町なので、なるべく次の日、午前中に視察を終わらせて、幌延に5時までに帰ってきたいということで、宿泊先は札幌にさせていただきました。

高橋委員長

はい、そういうことで、よろしく願いいたします。

深澤委員

1点だけ確認。

視察後の委員会としての役割というか、今後、(聞き取り不能)を開くのか、町民との懇談会を開くのか、教育委員会とのお互いの(聞き取り不能)意見交換、いかがでしょうか。

考えてません。やるべきじゃないのか。

岡田議会事務局長

教育委員会、基本構想を今策定中なので、12月の常任委員会のために、1回、中間報告で、常任委員会で説明するっていう話だったんで、その説明のときに、今回視察してきたことをすり合わせ。

高橋委員長

分かりました。

今、帰ってきて、教育委員会と話し合いとかしたらいいんじゃないかって話なんだけど、事務局のほうから、12月の定例前の委員会の中で、今やってる基本構想の説明が、多分、あるという、みたいなんで、その中で今回の視察もあわせて、そこで、討論っていうか聞きたいこと、こういう要望とかをやりたいという話なんですけど、遅いですか。

どうでしょうか。

多分、12月の頭だよな委員会。

岡田議会事務局長

12月に1回と、あと、最終的に、年明けて、1月末か2月ぐらいに、最終的な基本構想を出してくるんで、また、そのときにも協議が出来ます。あと2回は

(「基本構想はいられちゃったら終わりだよな」の声あり)

基本構想なので、あと、そのあと基本設計に入るので、あとは基本構想を最終的にまとめるまでの間、2回は、教育委員会のほうから説明ありますので、そこで、基本構想で、これ足りないんじゃないとか、こういうのも入れたらいいんじゃないとかっていう、そういう意見があれば、そこで中間報告で言うていただければ、それが反映されるかもしれません。

(「かもな」の声あり)

高橋委員長

3月いっぱいだよな、違ったっけ。

岡田議会事務局長

そうですね。

委託期間は、多分、今年度いっぱいだと思います。

(「補正であげたくらいだから。」の声あり)

予定としては、3月末に基本設計を契約するっていう話だったんで、繰越明許でやるって話してたので。あと最低でも2回は協議の場を設けてもらうことにはしています。

高橋委員長

どうでしょうかね。

はい、齋賀委員

齋賀委員

基本構想は、どういったメンバーで作られるのですか。

岡田議会事務局長

基本構想は、今、教育委員会で、コンサルさんと契約してますので、コンサルさんが、この小中一貫校の協議会でしたっけ、そういうところに諮りながら、最終的にコンサルが、基本構想をまとめていくという、そういう流れになります。

深澤委員

議員は、オブザーバーしかないんだって。

岡田議会事務局長

ただ、12月には中間報告がありますので、その時点で、基本構想をこういうことで進めてますっていうのがあるので、そこで、議会として、こういうものも取り入れたらどうかと

か、これは必要ないんじゃないかとかっていう意見は、できると思います。

齋賀委員

いや、それ聞いたところで、いらんないじゃないかとか、足したらいいんじゃないかって言たって、相手はコンサルさんが教育委員会と話つくってるところに、議会から物申して、そういうふうに変わっていくんですか現実に。

深澤委員

変わんないってだから。

佐藤委員

時間がないんだから。だけど聞いてみたってしゃーないかなーって。

深澤委員

この組織の中でも、オブザーバーでしか入れないんだって、議会なんか。

齋賀委員

オブザーバーでも、そのときは議会の名前ってなかったんでしょ、その時は。

高橋委員長

その辺は、教育委員会に聞いてみないと、それはわかんないんですけど。

多分、少なくとも2回ぐらいは、話合いを持ってそうなので、その中で反映していくしかないんじゃないかな。

多分、基本構想の予算のときに、みんな質問したんだけど、要するに、教育委員会だって、何をメインにして、何をやるから、こういう構想を立ててくれって、もともとのものを持ってないですよ。

そういう話だったような気がするんですよ。

そうしたら、どうやって作るのっていう話したときに、多分、コンサルは経験豊富で慣れているんで、それを組入れてとかって、何か曖昧な答弁をしたような気はするんですけど。

だから、本当は時間があれば、基本構想を作る前に出す前に、幌延の教育委員会として、こういうものですよっていう大まかなものを作って、それに対して、委託に出して、作るのが、筋じゃないかなと思うけど、多分、時間がないからそういう投げ方して、この間の補正を通して、期間がなくて、それでも、2月とかに作る基本設計が3月から入ってくってことになると、本当に時間ない中で、ぱたぱたぱたぱたってやっていく。

だから、今言ったとおりに、私たちの意見が取り入れられるのっていうと、それは、教育委員会さんに聞いてみないと、返答が出来ない話になってくるんですけど。

深澤委員

だから、視察も無駄だだべってだから。

齋賀委員

前にも視察に議員独自で行くって言ったときに、事前説明会してもらおうというのが今日なんですけど、その時にやっぱり教育委員会の人に来てもらって、議会で別に行く、別って言うか、最初は一緒に行きましょうという話だったんですけども、議会独自でいきますよということだったんだから、教育委員さんから今こういう話聞いて、説明でも何か、今決まってることを教えてもらって、議会独自で行くんですけど、是非、2つのところ行くんだったら、こういうところを中心に見てきて、また意見ももらいたいって言葉もらえれば、視察しや

すかった。

西澤委員

それで言うと、スケジュール的には、教育委員会のほうの小中一貫の視察も、先日ぐらいに行われているはずなので、10月末にでも、私ども議会も視察を終えて、10月末とかに1回、教育委員会のほうの教育長の発言でも、議会とは、進捗状況も含めて、情報交換していきたいという話だったので、そこは、教育委員会と話し合う機会を、月1でも設けていくことによって、議会として、勉強したこと、議員として、何か取り入れてほしいことがあれば、そこは聞きますというか情報交換しましょうという教育長の話だったので、まちづくり常任委員会等で開催していけばいいんじゃないでしょうか。

高橋委員長

今のところ、10月の20何日あたりに、こども議会の集まりが1回あるので、その後に、まちづくり常任委員会を開いて、あとは教育委員会が出席できるか出来ないかですね。

出席してもらって、そこで意見交換をしたいと思いますけど、いいですかそれで。

(「はい。」の声あり)

あと、何かありませんか。

(「ありません。」の声あり)

なければ、その他は、ありませんね。

(「はい。」の声あり)

(10時48分 閉 会)

以上、相違ないことを証するため署名する。

委員長 高橋秀之

以上、記録する。

事務局次長 藤田秀紀